

「オンラインによるギャンブル等依存症」症例集作成について

1 目的

近年、公営競技におけるインターネット投票の利用が増加するなど、「オンラインによるギャンブル」が身近となっていることから、「オンラインによるギャンブル」が背景にあるギャンブル依存の患者の症例をまとめ、相談支援や診療の場に普及を図る。

第2期北海道ギャンブル等依存症対策推進計画

発症予防（一次予防）

（1）教育、広報等による普及啓発の推進

○ ギャンブル等依存症の正しい知識や相談窓口等の普及啓発

- ・「オンラインによるギャンブル」の特徴やリスクに関する正しい知識の普及啓発に努め、「オンラインによるギャンブル等依存症」の症例集を作成し、相談支援機関に配布します。

2 作成スケジュール(案)

資料3のとおり

3 提供を依頼する情報(案)

- (1)患者概要(年代／性別／生育・生活歴／家族構成)
- (2)初診時主訴
- (3)既往歴
- (4)現病歴
- (5)診断
- (6)関わりの経過

（自助グループや行政機関などとのつながりがわかる場合は記載してもらう）

4 依頼先

依存症治療拠点機関・専門医療機関

5 症例集送付先

- (1)北海道ギャンブル等依存症対策推進会議構成機関
- (2)道立保健所
- (3)保健所設置市(旭川市、函館市及び小樽市)
- (4)専門医療機関